

2026 年 7 月 31 日
株式会社東北銀行
とうぎんりニューアブル・エナジー株式会社
東北電力株式会社



オフサイト PPA による再生可能エネルギーの導入

～東北銀行グループで発電した再エネ由来の電力を東北銀行の営業店等に供給～

株式会社東北銀行（取締役頭取 佐藤 健志、以下「東北銀行」）は、再生可能エネルギー（以下、「再エネ」）の拡大及び脱炭素化への取組みの一環として、とうぎんりニューアブル・エナジー株式会社（代表取締役 保 和衛、以下「とうぎんりニューアブル・エナジー」）が保有する太陽光発電所を活用し、東北電力株式会社（代表取締役社長 社長執行役員 石山 一弘、以下「東北電力」）が提供するオフサイト型コーポレートPPAサービス※1（以下、「本サービス」）を、営業店等7施設で導入しましたのでお知らせいたします。

○オフサイトPPAサービスの概要および事業者の役割について

本サービスは、東北銀行の子会社であるとうぎんりニューアブル・エナジーが東北銀行から資金を調達し建設・保有した太陽光発電所2地点（場所：岩手県一関市藤沢町、岩手県九戸郡洋野町、合計定格出力約100kW※2）で発電した再エネ由来の電力を、小売電気事業者である東北電力が東北銀行の営業店等7施設に対し20年にわたり電力供給を行うものです。

○本サービスによるCO₂排出量削減効果

本サービスによるCO₂排出量削減効果は、年間約80t-CO₂を見込んでおります。

また、この取り組みによって創出された環境価値を東北銀行グループ内で活用することで環境価値の循環を図ることができます。これにより、東北銀行グループ全体としてカーボンニュートラルを推し進めることが可能となります。

東北銀行、とうぎんりニューアブル・エナジー及び東北電力は、本取組みを再エネ活用の事例として発信することで、カーボンニュートラル社会の実現に貢献するとともに、エネルギーの地産地消による地域経済の活性化を目指してまいります。

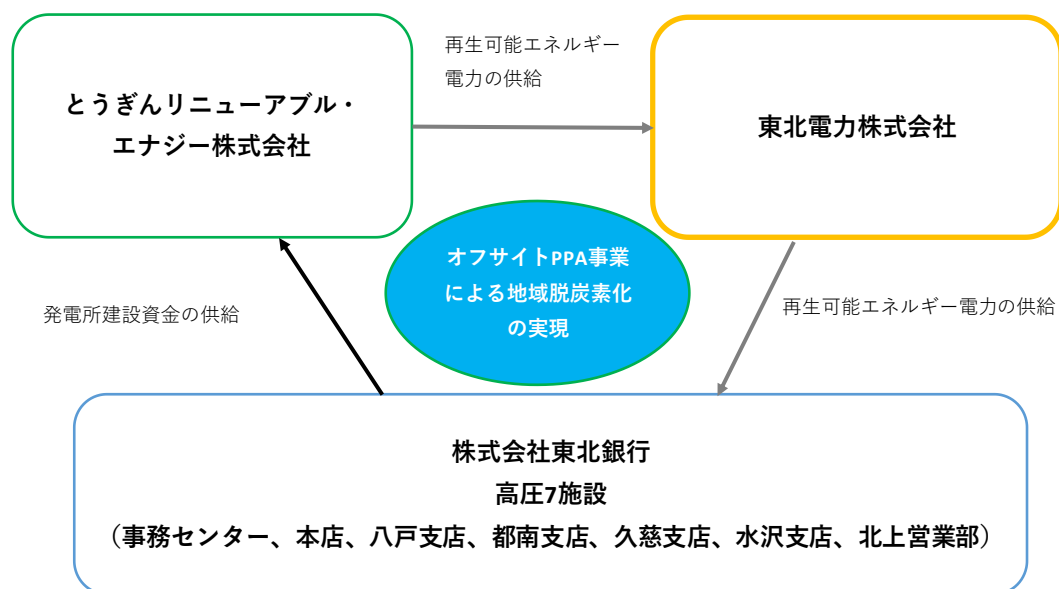
※1 太陽光や風力などの発電所を所有する発電事業者から、東北電力が特定の再エネ発電所由来の電気を購入し、それを環境価値とともに特定のお客さま（電気を使用する需要家）に販売するサービス。

※2 定格出力とは、発電設備が安定して出力できる電力を指す。

1. 本事業の概要

発電事業者	とうぎんリニューアブル・エナジー株式会社
小売電気事業者	東北電力株式会社
需要家	株式会社東北銀行
サービス形態	オフサイト型コーポレートPPA
想定再エネ供給量	189,133kWh/年（契約初年）
年間想定CO ₂ 削減効果	約80t-CO ₂ 環境省：電気事業者別排出係数一覧（令和8年提出用）から算出

2. スキーム図



以上